

第 211 回友の会 京都御苑

～静謐（せいひつ）の御苑にあそぶ～

日 時 12 月 11 日（日）

場 所 京都御苑 堺町休憩所～今出川御門

天 候 晴れ時々曇り

参加者 一般 28 名（内子供 2 名） スタッフ 15 名 合計 43 名

本日のリーダーから御苑概要の説明の後出発。頭上ではイカルの集団がエノキで食事中。私たちがスダジイの実をみんなで拾いました。

ここではドングリの仲間が実をいっぱい落としていました。実を集めてドングリの背比べならぬヘソ（尻）比べをしました。マテバシイ、ツクバネガシ、シリブカガシ、その中でウバメガシが一番小さかった。

カラタチの刺の枝上に黄色い実が 3～4 個。どんな味かな。香りはどうかな、想像しました。

ヤブミョウガの黒っぽい実、真っ赤で尖ったミニトマトみたいなローヤガキの実がきれいでした。

カジノキの大きな葉は毛が多く触るとフワフワ。この木とヒメコウゾの交配からコウゾが生まれ、和紙の原料として栽培されていると教えてもらいました。

御苑が整備されて 130 年以上、それ以前からあったと思われる木が大木になっています。胸高幹回りを測ってみました。

*エノキ	5m40cm
*アカマツ	2m90cm
*ケヤキ	4m35cm



エノキの巨木にクマゼミの抜け殻がいっぱい



ドングリの芽生えクイズしました



スダジイの実を探し説明を聞きました



ケヤキの巨木の又にモミジの紅葉

イスノキにイスノキエダチャイロオオタマフシが浮いているのをみて拾い。ケヤキの落葉の中から種のついた小枝を探し、ムクロジの黒い種子を見つれたりと下ばかり見て歩きました。

2018年9月の台風はたくさんの倒木を招きました。ここも例外ではありません。その跡に桜が植えてありました。『なんで桜』？残念でなりません。

そう思うのは私一人でしょうか。

最後に本年度、友の会参加回数が多い6名の方に記念品をお渡しいたしました。



記念品をお渡ししました

近藤



カジノキ



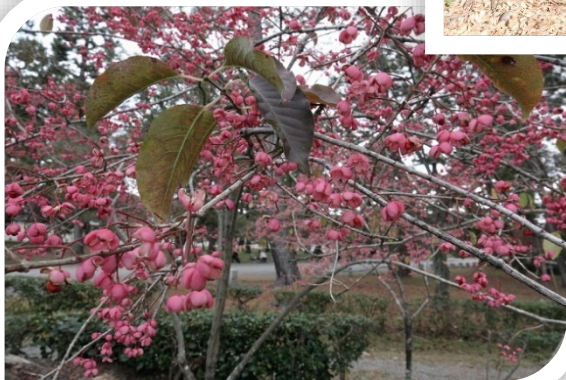
太陽の光でムクロジの黄葉が輝く



モミジの紅葉がきれい



スダジイの板根



マユミ



清水谷家のムクの巨木